



2026年2月2日

各 位

会 社 名 売れるネット広告社グループ株式会社
代 表 者 名 代表取締役社長 CEO 植木原宗平
(コード番号：9235 東証グロース)
問 合 せ 先 執 行 役 員 後 藤 祐 弥
(TEL 092-834-5520)

売れるネット広告社グループ、オンライン声優スクール「SPOT」と業務提携

～ライブコマース・インフルエンサー・コールセンター領域における

“話す力”人材の育成・供給体制を強化～

売れるネット広告社グループ
オンライン声優スクール「SPOT」と業務提携
～ライブコマース・インフルエンサー・コールセンター領域における“話す力”人材の育成・供給体制を強化～

売れるネット広告社グループ株式会社（本社：福岡県福岡市、代表取締役社長 CEO：植木原宗平、東証グロース市場：証券コード 9235、以下 売れるネット広告社グループ）は、このたび当社連結子会社である株式会社 SOBA プロジェクトが出資する、オンライン声優スクール「SPOT」を運営する株式会社 SPOT（本社：東京都渋谷区、代表取締役：羽佐間圭介、以下 SPOT）と、包括的な業務支援提携を締結したことをお知らせいたします。

本提携により、売れるネット広告社グループが展開するライブコマース、インフルエンサーマーケティング、コールセンター支援等の領域において、顧客接点で成果に直結しやすい「話す力」を備えた人材の育成・供給を強化し、サービス提供価値の向上と事業成長につなげてまいります。

【提携の背景：顧客接点領域で求められる“話す力”と人材供給の課題】

ライブ配信・動画・コールセンター等、顧客接点がオンライン化・多様化する中で、伝達力・表現力・コ

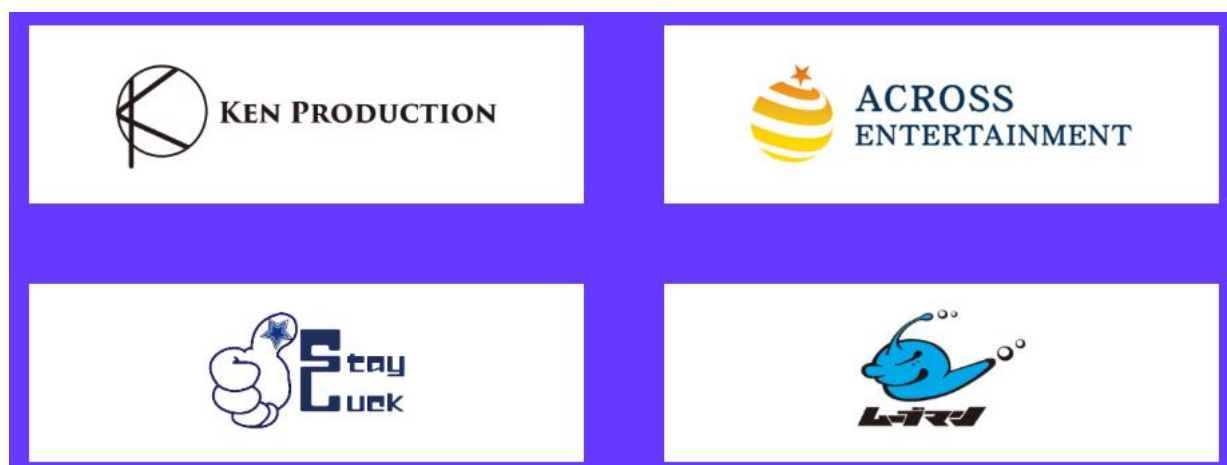
コミュニケーション力を備えた人材への需要が高まっています。一方で、当該スキルを体系的に育成し、事業領域へ継続的に供給する仕組みは十分に整っていないケースも多く、売れるネット広告社グループは SPOT との連携により、実務に接続した育成・供給体制の構築を進めます。

【「SPOT」について：オンライン完結型のトレーニングプラットフォーム】

「SPOT」(<https://spot-pj.com/>) は、大手声優プロダクション 4 社（アクロスエンタテインメント、賢プロダクション、ステイラック、ムーブマン）が運営し、オンラインで受講可能な教育プラットフォームとして、発声・発音・滑舌・表現力等のスキル向上を支援しています。これらのスキルは声優領域に留まらず、ライブ配信者、インフルエンサー、接客・営業・カスタマーサポート等の領域においても汎用性が高く、売れるネット広告社グループは本提携を通じて、事業領域に即したプログラムの共同開発・運用を進めてまいります。

▼SPOT (<https://spot-pj.com/>)

2020 年に開講した現役声優とマンツーマンで受講できるオンライン声優スクール。山寺宏一、花江夏樹、谷山紀章、浪川大輔、羽佐間道夫らが所属する声優プロダクション 4 社が安価で「いつでも、どこでも、だれでも」参加できるシステムとカリキュラムを開発し、プロの声優も輩出している。



【提携内容：ライブコマース／インフルエンサー領域での連携】

売れるネット広告社グループが推進する TikTok 等を活用したライブコマース支援およびインフルエンサーマーケティングにおいて、以下の取り組みを予定しております。

- ・ライブ配信者向けの表現力・話し方等に関するプログラムの共同開発
 - ・インフルエンサー候補の育成および案件アサインを含む運用モデルの検討
 - ・売れるネット広告社グループのマーケティング知見と連動した、配信品質向上・成果最大化に向けた支援
- これにより、単発の施策に留まらず、育成から案件実装までを見据えた支援体制を整備してまいります。

【提携内容：コールセンター／カスタマーサポート領域での連携】

売れるネット広告社グループは、D2C 領域等の支援において、顧客対応品質が CVR や LTV 等の重要指標に影響し得る点を踏まえ、SPOT と共同で、コールセンター・カスタマーサポート向けの研修プログラムの開発・提供を検討してまいります。

- ・顧客対応における話し方・伝え方・感情表現等のトレーニング設計
- ・クロージング、アップセル、クレーム対応等の場面別スキル向上支援

法人向け展開も視野に入れ、継続的な支援体制の構築を進めます。



【今後の展望】

売れるネット広告社グループは本提携を通じて、「教育（育成）→実務投入→成果創出→データ蓄積→改善」という循環の構築を進め、ライブコマース・インフルエンサー・コールセンター等の各領域における提供価値の向上と収益機会の拡大を図ってまいります。

なお、本件による売れるネット広告社グループの連結業績に与える影響は現時点では軽微と考えておりますが、2026年7月期の連結業績にプラス寄与を見込んでおります。

以 上